

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要		事業開始年度		平成17年度		根拠法令・例規等		
総合計画	大項目	基本目標	03	地域文化と人が輝くまちづくり		問	担当課(室)	
	中項目	基本施策	02	生きがいのあるまちづくり				教育委員会スポーツ振興室
	小項目	施策	06	スポーツ・レクリエーション				室長補佐 山本香代子
事務事業名		02	スポーツ推進事業		合先	職・氏名	63-3813	
				このシート作成に要した時間	1.0 時間			

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	スポーツ少年団・体育協会等社会体育団体 体力づくり・健康維持・技術の向上を目指したスポーツ愛好者 スポーツ大会に出場する市民と観覧者 アーチェリ競技者と観覧者
目的(何のために)	各種競技団体等を支援することで、組織強化と活動の活性化 年齢や適性に応じ、地域や職場等の実態に合ったスポーツ活動を展開するための機会や情報を提供 市民のスポーツ活動の発表の場を提供。 全国大会を開催し、アーチェリ競技の拠点づくりに寄与する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	活動補助金を有効に活用した活動を行い、備前市のスポーツ振興を行うと共に、スポーツ少年団の団員数、体育協会加盟団体を増やす。 県を代表し全国で活躍する選手を発掘し、青少年に夢と希望を与える。 選手や引率者・来訪者があり全国へ備前市の名を広め地域活性化を図る。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するために実施した事業	細事業名	備前市スポーツ少年団・備前市体育協会の事務局。各種団体の育成と支援。		
	スポーツ教室・研修会等開催事業	研修会の開催。スポーツ教室の開催。(前期・後期各8回)		
	スポーツ大会等開催事業	大会の開催(チャレンジデー) スポーツ・レクリエーション大会・海洋普及大会・テニスクラブ・ソフトボール)		
	スポーツ拠点づくり推進事業	全日本キャットアーチェリ選手権大会の開催		

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費		2,939	1,237	1,783
	必要人員(人件費)	千円	2.49人	1.05人	0.64人
	事業費計		19,063	7,130	7,143
	国県支出金				
	受益者負担				
	繰入金	千円			
	その他( )				
	一般財源		19,063	7,130	7,143
	受益者負担比率	%	-	-	-
	結果指標名	単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
スポーツ教室・スポーツ大会開催	説明	個人の適性にあった種目を見付けるためのスポーツ教室開催と、競技スポーツ等の発表の場となるスポーツ大会等の開催			
結果指標	結果指標量	5,853	4,299	1,761	
	対前年比	-	73.4%	41.0%	
	活動コスト				
	単位当たりコスト	円	0	0	

事業の成果		年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
全国大会等出場選手人数	成果指標名	目標値(A)	10,000	10,100	10,200	10,500
		実績値(B)	5,853	4,299	1,761	到達目標値
		達成率(B/A)	58.53%	42.56%	17.26%	10,500
成果指標設定の考え方・式や説明						
スポーツ大会・教室・研修会等市が主催するスポーツイベントに参加した人の数						

事務事業の評価		妥当性の評価		市民ニーズ	
妥当性の評価	市の関与の妥当性の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	<input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない	妥当性評価 <A-E> <b>B</b>
		<input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている			
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	<input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	効率性評価 <A-E> <b>B</b>
		<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している	<input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託会)を見直すことでコストを下げる余地がある	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	<input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	有効性評価 <A-E> <b>B</b>
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	<input checked="" type="checkbox"/> 最新の手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である	

留意事項のなから有効性の値評価を行うことで結果指標

進行年度(H22年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	各種目の指導者を対象に、指導者育成研修会を開催し指導者を育成することと、市民総参加型のチャレンジデーを開催。								

総合評価		評価区分 <A-E>	妥当性
市民が気軽にスポーツに参加できる、スポーツ教室や各種大会を開催し、参加することで市民が健康で明るい生活が送れるようスポーツ環境を整えことと、青少年の健全育成を念頭にいたしたスポーツ指導者の資質向上のために、成果の上がる研修会を開催する必要がある。		<b>B</b>	有効性 効率性

平成23年度の方針及び取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	市民のニーズにあった企画により、スポーツ教室や大会等を見直しをしていく必要がある。								